

令和7年度第2回 名張市上下水道事業運営審議会資料

- ・水道事業の持続可能な経営のあり方

水道事業経営戦略の中間見直し . . . P 2

財政シミュレーション . . . P 10

令和7年11月20日

名張市上下水道事業運営審議会



水道事業の 持続可能な経営のあり方

経営戦略の中間見直し・財政シミュレーション

令和7年度第2回上下水道事業運営審議会

開催日：11月20日14:00～



PRESENTATION
AGENDA



水道事業経営戦略の中間見直し



財政シミュレーション



水道事業経営戦略の中間見直し

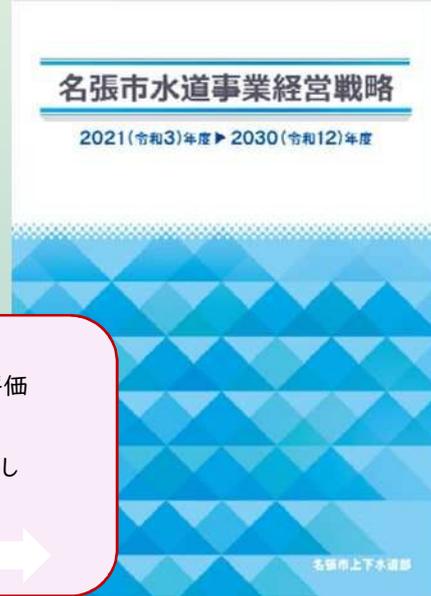
1. 「経営健全化の取組」の評価・見直し

①令和3年に策定した

「名張市水道事業経営戦略」の中間見直しを実施する。

第3章 経営戦略

- 1. 基本方針
- 2. 投資試算と財源試算による見通し
- 3. 目標設定
- 4. 投資・財政計画
- 5. 経営健全化の取組**
- 6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

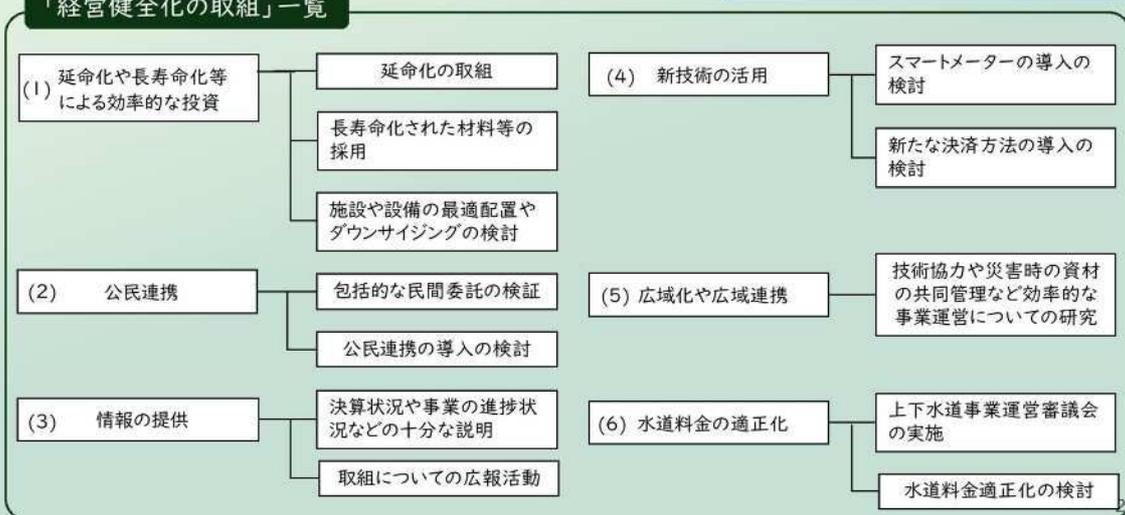
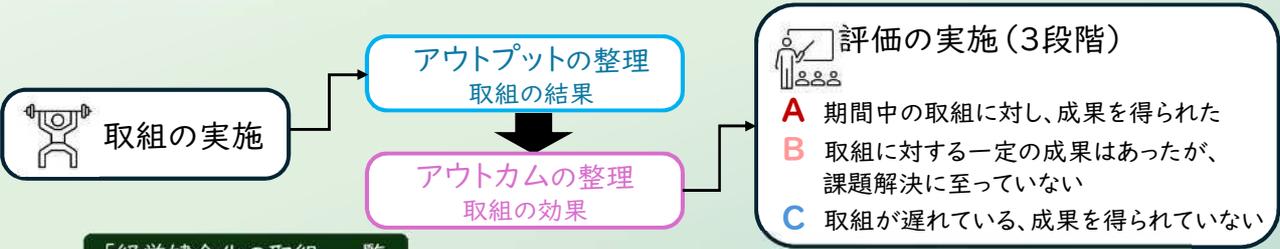


- ② 「経営健全化の取組」について、前半期間（令和3年度～令和7年度）の成果・効果の評価
- ③ 「経営健全化の取組」について、後半期間（令和8年度～令和12年度）の方針の見直し



水道事業経営戦略の中間見直し

2. 前半期間（令和3年度～令和7年度）の評価



水道事業経営戦略の中間見直し

2. 前半期間（令和3年度～令和7年度）の評価

(1) 延命化や長寿命化等による効率的な投資

①延命化の取組

アウトプットの整理 取組の結果

- 日頃からの適切なメンテナンスとともに、ポンプや電気盤はオーバーホールなどの**予防保全を強化**
- 浄水場集中監視設備の大規模事業に国等の**補助金を活用**

富貴ヶ丘浄水場3号送水ポンプ、粉末活性炭設備などを延命化

アウトカムの整理 取組の効果

- 修繕費は年間1千万円増加となったが、更新事業費を9億円削減できた（**52億円→43億円**）
- 総事業費23億円のうち**7.6億円の財政支援**を受ける見込みであり、起債額を抑制することができた

A 期間中の取組に対し、成果を得られた

②長寿命化された材料等の採用

アウトプットの整理 取組の結果

- 長期の寿命が期待される管種を採用（5年間で延長35,550m）
- **Φ150mm以下**:水道配水用ポリエチレン管
- **Φ200mm以上**:ダクタイル鋳鉄管(GX形)
- 管路更新の際に耐腐食性の高いポリエチレンスリーブ被覆を実施(5年間で5,541m)

アウトカムの整理 取組の効果

- 管路耐震化率は、**4.6ポイント増加**（令和2年→令和6年）
- **有収率は90%以上**を維持することができた

A 期間中の取組に対し、成果を得られた

1/20

水道事業経営戦略の中間見直し

2. 前半期間（令和3年度～令和7年度）の評価

(1) 延命化や長寿命化等による効率的な投資

③施設や設備の最適配置やダウンサイジングの検討

アウトプットの整理 取組の結果

- 浄水場施設の**運用方法の見直し**を実施（施設利用率の低下に伴うポンプ運転時間の短縮や、電力の時間帯別料金を踏まえた最適化運用）

アウトカムの整理 取組の効果

- 配水量は**3.4%減**に対し、電気使用量は**5.5%削減**することができた

A 期間中の取組に対し、成果を得られた

配水量は3.4%減
電気使用量は5.5%減
電気料金は32.2%増

配水量・電気使用量・電気料金の変化

令和2年度 = 100



2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

2. 前半期間（令和3年度～令和7年度）の評価

(2) 公民連携

① 包括的な民間委託の検証

アウトプットの整理 取組の結果

- ・浄水場運転管理委託では、**委託内容の見直しと委託範囲の拡大**を図った（小修繕・採水などを含めた包括委託）
- ・料金窓口の民間委託では、受託者との**定期的な打合せ**を実施し、業務上の課題や解決に向けた取組に繋がった

アウトカムの整理 取組の効果

- ・委託内容の見直しによって、（大屋戸浄水場の昼間運転を無人化し、委託人数を1.5人分削減）
→**年間1,180万円の費用を削減**することができた

A 期間中の取組に対し、成果を得られた

② 公民連携の導入の検討

アウトプットの整理 取組の結果

- ・管路DB方式について一部事業者団体への調査をはじめ、協議・検討は試みたが導入にまでは至っていない

アウトカムの整理 取組の効果

- ・なし

C 取組が遅れている、成果を得られていない

2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

2. 前半期間（令和3年度～令和7年度）の評価

(3) 情報の提供

① 決算状況や事業の進捗状況などの十分な説明

アウトプットの整理 取組の結果

- ・各年度の決算状況は議会への報告とともに、各種計画、水道事業に関する統計など**水道事業の基本情報**について、市民向けに**ホームページに掲載**し、情報提供と周知を図った

アウトカムの整理 取組の効果

- ・広報誌による情報の提供度 (PI:C401) は **年間3件**
- ・インターネットによる情報の提供度 (PI:C402) は **年間68件**

B 取組に対する一定の成果はあったが、課題解決に至っていない

② 取組についての広報活動

アウトプットの整理 取組の結果

- ・水道施設の耐震化や水質検査結果などの各種の取組について**適時ホームページなどを活用**し市民への周知を図った

B 取組に対する一定の成果はあったが、課題解決に至っていない

2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

2. 前半期間（令和3年度～令和7年度）の評価

(4) 新技術の活用

①新技術の導入の検討

アウトプットの整理
取組の結果

- AIによる管路の劣化診断システムを行った
- 浄水場の監視制御システムにおいて、水運用システムと連携させての自動制御が可能となる等の検討を行った

アウトカムの整理
取組の効果

- 管路の漏水危険箇所等を把握することができた
- 左記の検討の結果、令和7年度から導入が決定した

B 取組に対する一定の成果はあったが、課題解決に至っていない

②スマートメーターの導入の検討

アウトプットの整理
取組の結果

- 検針に労力を要する一部のエリアでの試行的導入を検討したものの、導入には至っていない

アウトカムの整理
取組の効果

- なし

C 取組が遅れている、成果を得られていない

③新たな決済方法の導入の検討

アウトプットの整理
取組の結果

- 令和6年度からスマホ決済を導入（R6実績7,138件が利用）

アウトカムの整理
取組の効果

- お客様の料金支払いにおける利便性が向上した

A 期間中の取組に対し、成果を得られた

2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

2. 前半期間（令和3年度～令和7年度）の評価

(5) 広域化や広域連携

①技術協力や災害時の資材の共同管理など効率的な事業運営についての研究

アウトプットの整理
取組の結果

- 三重県と日水協三重県支部の主体的な調整の結果、**県内自治体間の災害協定**による非常時体制を構築することができた
- 令和元年10月に設置された**三重県水道事業基盤強化協議会**による災害研修会の実施や検討会等に積極的に参加した（5年間で25回）

アウトカムの整理
取組の効果

- 県内自治体間の技術協力や資材の共同管理など、**ソフト面での連携強化**を進めることができた

B 取組に対する一定の成果はあったが、課題解決に至っていない

2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

2. 前半期間（令和3年度～令和7年度）の評価

(6) 水道料金の適正化

① 上下水道事業運営審議会の実施

アウトプットの整理 取組の結果

- 水道事業に関する審議会を開催し、事業運営に関する調査・審議を行った（令和6年度は3回、令和7年度も3回予定）
- 各年度の決算書の反映や事業費の見直しも行いつつ、事務局として事業の現状と課題を整理した資料を作成し説明を行った

B 取組に対する一定の成果はあったが、課題解決に至っていない

アウトカムの整理 取組の効果

- 経営戦略前半の経営基盤強化期間に予定していた料金改定は、コロナ禍や急激な物価上昇の影響を考慮して見送ることとなったが、**水道料金の最適化に向けた議論を深める事ができた**

② 水道料金適正化の検討

アウトプットの整理 取組の結果

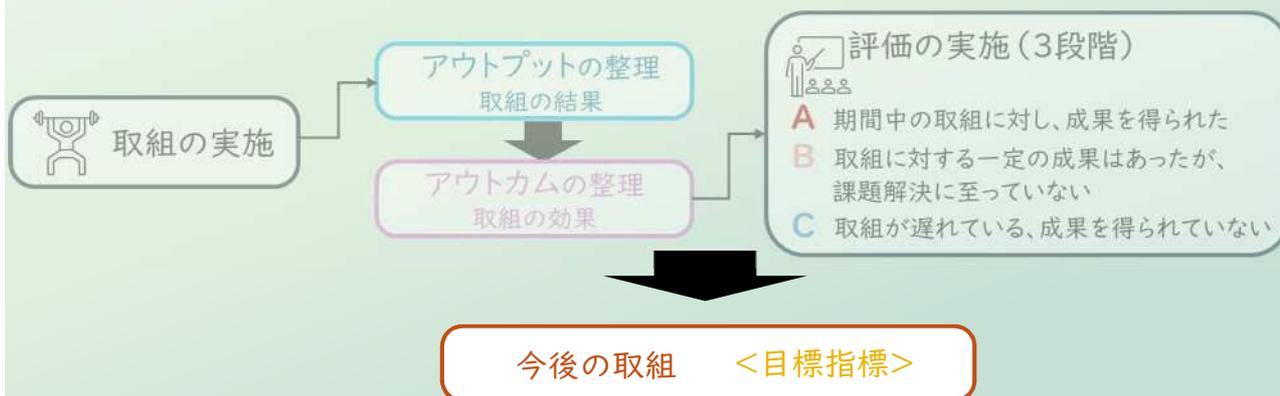
- 審議会では、人口減少、施設の老朽化、人材不足といった水道事業が直面する課題に対応するための施策調査のほか、**料金改定について議論**することができた

C 取組が遅れている、成果を得られていない

2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

3. 後半期間（令和8年度～令和12年度）の取組



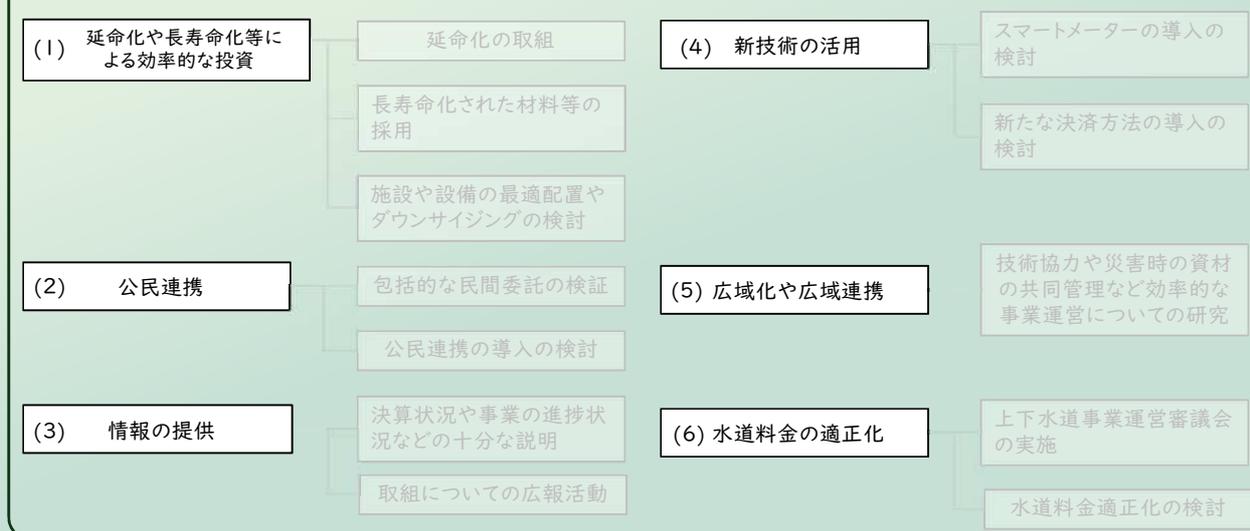
2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

3. 後半期間（令和8年度～令和12年度）の取組

今後の取組 <目標指標>

「経営健全化の取組」一覧



2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

3. 後半期間（令和8年度～令和12年度）の取組

(1) 延命化や長寿命化等による効率的な投資

今後の取組

<目標指標>

・延命化や長寿命化に取り組めます

- ①更新基準年数を設定して更新する
- ②点検結果から健全性を確保できる場合は更新基準年数を超えて延命化を図る
- ③点検・修繕データや長寿命化された材料等の活用します

・施設能力の適正化を図ります

- ①水需要が減少する中で、非常時のバックアップ能力とのバランスを考慮した、施設や管路の最適配置やダウンサイジングについて検討します

・更新・耐震化を計画的に実施します

- ①投資の平準化や削減に取り組みつつ、重要度と優先度を考慮した計画的な実施に努めます

→効果的な更新と共に効率的な投資を目指します

・法定耐用年数超過設備率：

65%以下を維持

(過去の更新実績や点検結果に基づく延命化・修繕・更新を計画的に進めた場合、令和12年度に64%程度となる見込み)

・有収率：

90%以上

・管路耐震化率：

1年あたり**1.0ポイント**増加

2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

3. 後半期間（令和8年度～令和12年度）の取組

(2) 公民連携

今後の取組

- 費用、生産性、職員の技術継承について検証し、委託内容を定期的に見直しを行うとともに多様な公民連携手法についても研究を進めます

〈目標指標〉

→組織体制の強化や民間ノウハウの活用により持続可能な運営を目指します

- 包括委託**についての検証
- PPP**導入可能性の検討

(3) 情報の提供

今後の取組

- 従来からのホームページや広報誌に加えて、SNS等の利用者により身近な手段を用いた広報活動を行います

〈目標指標〉

→利用者の皆様への適切な情報提供を目指します

2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

3. 後半期間（令和8年度～令和12年度）の取組

(4) 新技術の活用

今後の取組

- 多様な技術の導入や活用について検討します
- AIによる管路の劣化診断結果を活用した、効率的な管路更新計画を策定します
- 新たな監視制御システムを活用した、自動制御や他システムとの連携による業務効率化を目指します

〈目標指標〉

→業務効率化やDXの推進を目指すことで人的資源の最適配置が可能となります

- 委託人員の**2名**削減
- 大屋戸浄水場の**無人化**

→漏水などの事故発生を未然に防ぎ、水道システムの安定性と利用者へのサービス低下を防ぎます

- 有収率（PI:B112）：**90%**以上
- 小規模ポンプ施設及び配水池におけるAI搭載監視カメラによる遠隔点検の実施：**10か所以上**（市内全69施設のうち）

2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

3. 後半期間（令和8年度～令和12年度）の取組

(5) 広域化や広域連携

今後の取組

・三重県や県内自治体の動向も踏まえながら、引き続き広域連携の検討協議を進めます

（例：資機材等の共同購入の検討、水質検査機器・集中監視システム等の共同利用の検討）

〈目標指標〉

→経営資源の効率化を目指します

2025/11/20

水道事業経営戦略の中間見直し

3. 後半期間（令和8年度～令和12年度）の取組

(6) 水道料金の適正化

今後の取組

・上下水道事業運営審議会を定期的に開催し、水道事業の運営に関する調査・審議を継続していきます

・水道料金算定要領に基づき、財政の健全化及び料金負担の公平化の見地から、定期的な料金改定を実施し、水道料金の適正化を目指します

〈目標指標〉

→定期的な料金改定による水道料金の適正化を実施し、水道事業の基盤強化を図り、安定的な経営を目指します

・審議会の実施回数：

年 **2** 回以上

・当年度純損益：

令和19年度以降、**黒字化**

※仮の値であり、今回の審議会結果を踏まえて見直します

2025/11/20

財政シミュレーション

1. 設定条件

(1) 料金改定率の条件

- ・ 推計期間は令和8年度～令和27年度の20年間
- ・ 改定間隔は、5年
- ・ 内部留保資金は10億円を確保
- ・ 改定率の異なる3ケースを設定
- ・ 各ケースの1回目の改定率は、25%、35%、40%
- ・ 2回目以降の改定率は、各ケースの上限値を超えない範囲で、改定年度を含めて5年間単年度黒字を目指す

	1回目（令和9年度）の改定率	2回目以降の改定率の上限
ケース1	25%	25%
ケース2	35%	35%
ケース3	40%	40%

2025/11/20

財政シミュレーション

1. 設定条件

(2) 条件一覧

収益的収入

料金収入	供給単価（令和6年度の供給単価×平均料金改定率）×年間有収水量
長期前受金戻入	長期前受金戻入計算

収益的支出

人件費	令和7年度予算値×賃金上昇率 ※賃金上昇率：人事院勧告を参考
動力費	動力費単価（令和6年度予算値）×配水量×物価上昇率 ※物価上昇率：消費者物価指数を参考
支払利息	「予定償還表+新規企業債」に対して算定 ※新規企業債の利率：2.2% （近年の地方公共団体金融機構の利率から設定）、30年償還
減価償却計算	減価償却計算

2025/11/20

財政シミュレーション

1. 設定条件

(2) 条件一覧

資本的収入

企業債	10億円の内部留保資金を確保できるように発行
補助金・交付金	近年の実績を考慮して、見込み値を設定
工事負担金など	近年の実績を考慮して、見込み値を設定

資本的支出

建設改良費	投資計画 ・令和12年度までは年間16億円～26億円程度 ・令和13年度以降は年間20億円～24億円程度
企業債償還金	「予定償還表+新規企業債」に対して算出

2025/11/20

財政シミュレーション

2. 結果

(1) 結果の概要

	条件				特徴
	令和9年度	令和14年度	令和19年度	令和24年度	
ケース1	25%	25%	25%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年赤字 ・内部留保資金は10億円を確保 ・企業債残高は最大で162億円 (対給水収益比率735%) (令和27年度)
ケース2	35%	35%	32%	15%	<ul style="list-style-type: none"> ・令和19年度以降は毎年黒字 (令和19年度以前でも単年度黒字の年度は存在) ・内部留保資金は10億円を確保 ・企業債残高は最大で98億円 (対給水収益比率394%) (令和27年度)
ケース3	40%	40%	22%	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・令和19年度以降は毎年黒字 (令和19年度以前でも単年度黒字の年度は存在) ・内部留保資金は10億円を確保 ・企業債残高は最大で87億円 (対給水収益比率356%) (令和27年度)

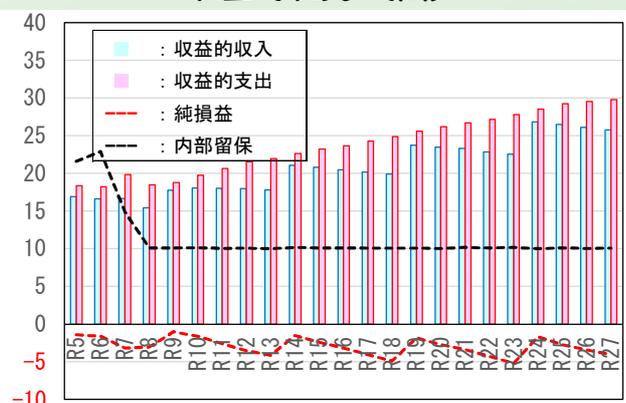
2025/11/20

財政シミュレーション

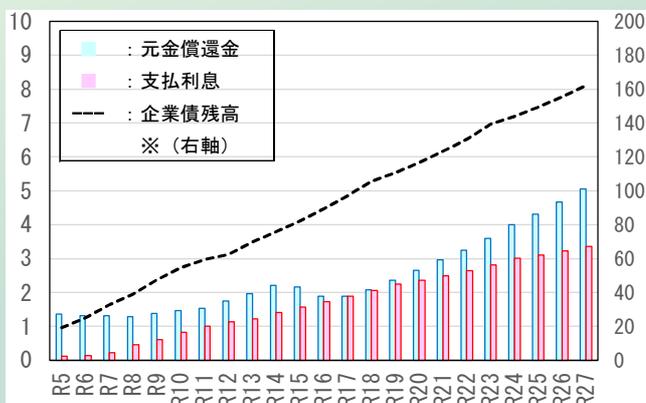
2. 結果

(2) ケース1 (初回改定率=25%、その後も25%を上限)

収益的収支の推移 単位：億円



企業債の支払・残高の推移 単位：億円



- 料金改定率：25%（令和9年度）、25%（令和14年度）、25%（令和19年度）、25%（令和24年度）
- 収益的収支：毎年赤字
- 企業債残高：最大で162億円（令和27年度）

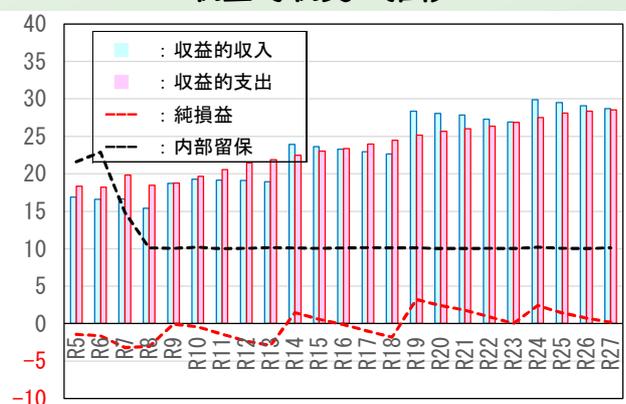
2025/11/20

財政シミュレーション

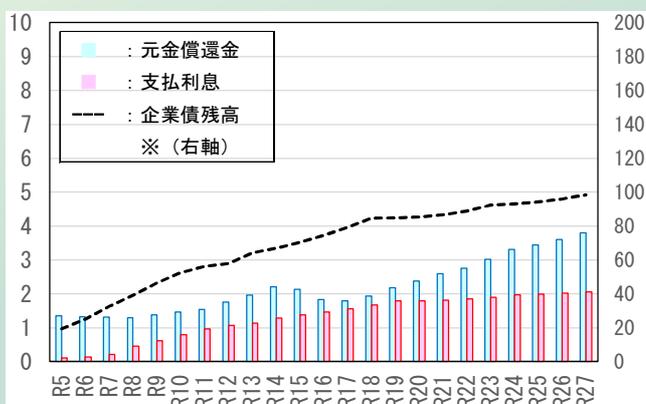
2. 結果

(3) ケース2 (初回改定率=35%、その後も35%を上限)

収益的収支の推移 単位：億円



企業債の支払・残高の推移 単位：億円



- 料金改定率：35%（令和9年度）、35%（令和14年度）、32%（令和19年度）、15%（令和24年度）
- 収益的収支：令和19年度以降は毎年黒字（令和14～15年度も一時的に黒字）
- 企業債残高は、最大で98億円（令和27年度）

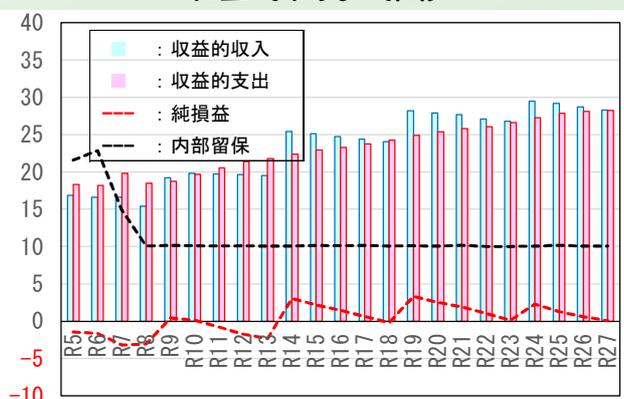
2025/11/20

財政シミュレーション

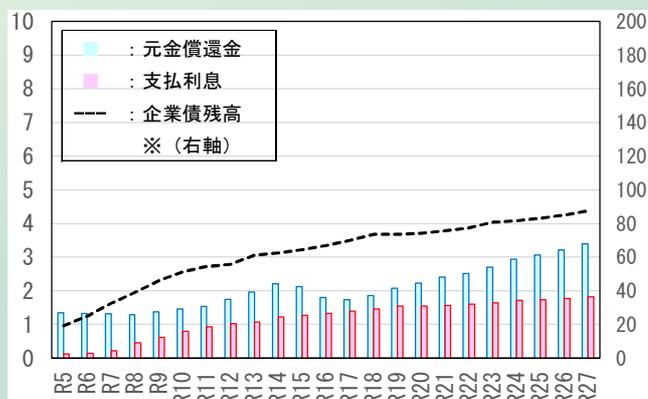
2. 結果

(4) ケース3 (初回改定率=40%、その後も40%を上限)

収益的収支の推移 単位：億円



企業債の支払・残高の推移 単位：億円



- 料金改定率：40% (令和9年度)、40% (令和14年度)、22% (令和19年度)、14% (令和24年度)
- 収益的収支：令和19年度以降は毎年黒字 (令和11~13年度、令和18年度も一時的に黒字)
- 企業債残高は、最大で87億円 (令和27年度)

2025/11/20

財政シミュレーション

(参考)

- (1) 三重県内の市町との比較
 - ①水道料金
 - ②料金回収率・企業債残高対給水収益比率
- (2) 近年の比較的大きい改定率での事例
 - ①埼玉県本庄市
 - ②三重県尾鷲市
 - ③千葉県我孫子市
 - ④大阪府河内長野市
 - ⑤名張市との比較
- (3) 連続的した改定事例
 - ①大阪府富田林市
 - ②広島県海田町

2025/11/20

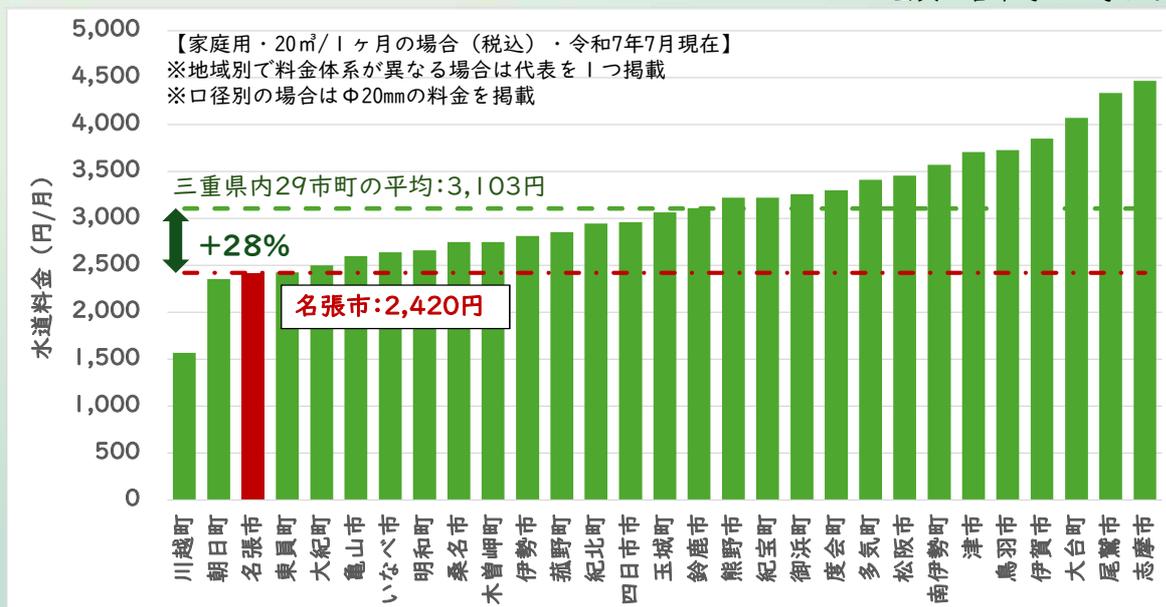
財政シミュレーション

(参考)

(1) 三重県内事業体との比較

①水道料金（三重県内29市町における比較）

出典：各市町のHP等から集計



2025/11/20

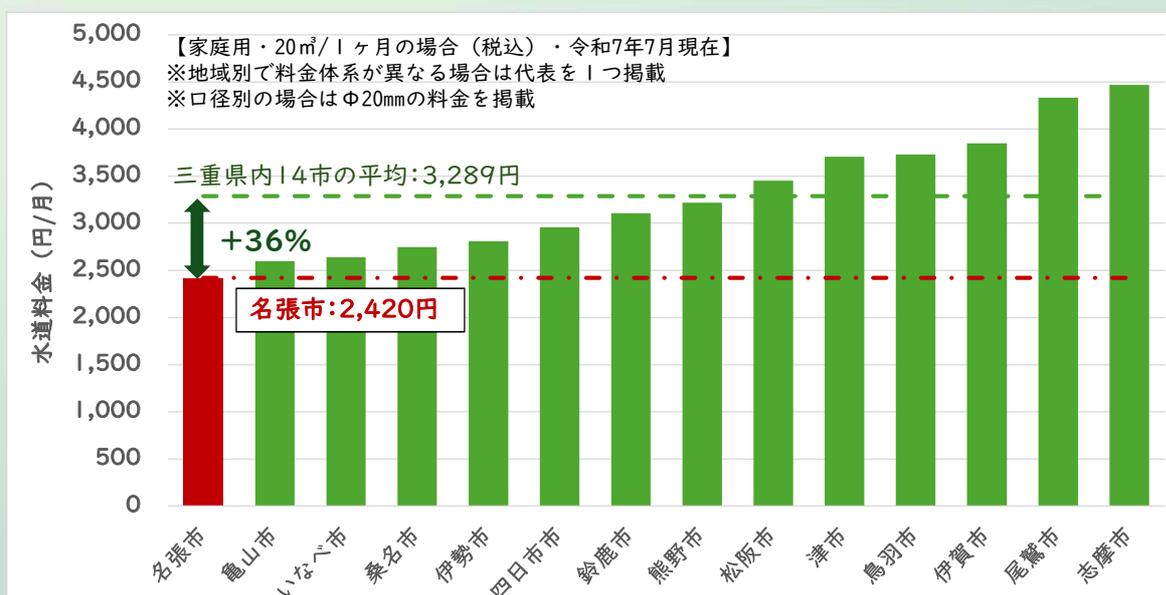
財政シミュレーション

(参考)

(1) 三重県内事業体との比較

①水道料金（三重県内14市における比較）

出典：各市のHP等から集計



2025/11/20

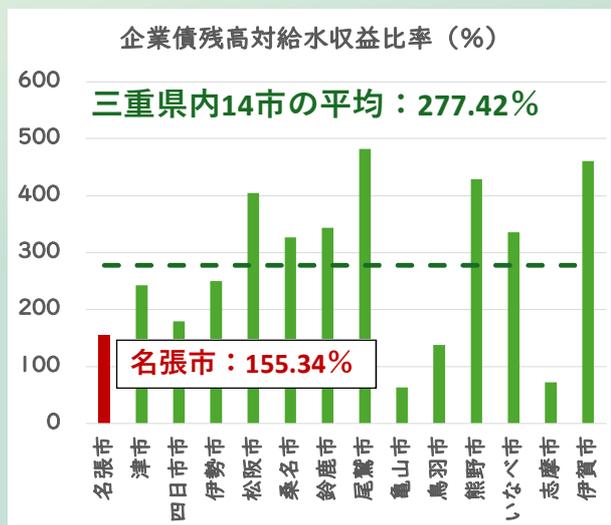
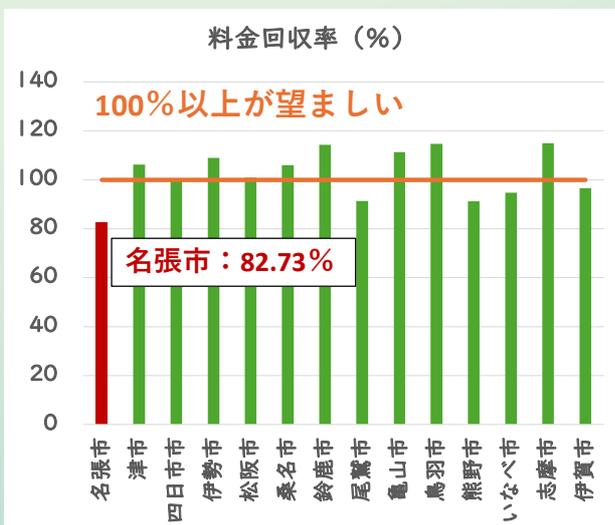
財政シミュレーション

(参考)

(1) 三重県内事業体との比較

②料金回収率・企業債残高対給水収益比率

出典：各市の経営比較分析表
(令和5年度決算)



2025/11/20

財政シミュレーション

(参考)

(2) 近年の比較的大きい改定率での事例

①埼玉県本庄市：令和7年4月に40%の改定

令和7年4月1日より水道料金を改定します

水道事業は使用者の皆様からいただく水道料金で運営しております。本庄市では、平成21年4月の合併後の料金改定（水道料金の統一）以降、消費税率の改定を除き15年にわたり経営努力により水道料金を据え置いてまいりました。

しかしながら、人口の減少や節水機器の普及等により水需要は減少し、水道料金収入が減少する一方、近年は、電力料の高騰や老朽化した水道施設の更新費用の増加などによって、水道事業の運営に必要な資金の確保が厳しい経営状況となっております。

必要な運営資金を確保し、安全で安心な水道水を将来にわたり安定的にお届けするために、まことに心苦しい限りですが、水道料金の改定にご理解とご協力をお願いいたします。

水道料金の改定内容

- ・基本料金及び超過料金を以下の料金表のとおり改定します。
- ・水道料金の平均改定率は約1.4倍です。

出典：
本庄市HP

2025/11/20

財政シミュレーション

(参考)

(2) 近年の比較的大きい改定率での事例

②三重県尾鷲市：令和6年4月に34.6%の改定

令和6年4月から水道料金を改定（値上げ）します。

尾鷲市では、平成23年4月に料金改定を行って以来、13年間水道料金を据え置けてきました。その間に水道水の使用量は、人口が減ったことや大口需要企業に撤退により大きく減少しています。また、水の需要が減ったことにより料金収入も大幅に減少しています。



「安全・安心でおいしい水の安定供給」と「重要なライフラインの維持」のためには古くなった水道施設や水道管の更新が必要であり、その財源確保のための水道料金の見直しが必要となりました。そのため、令和6年4月検針分（3月使用分）から水道料金を改定します。

水道料金の改定率

水道料金の改定率は平均して約34.6%の増になります。

出典：
尾鷲市HP

2025/11/20

財政シミュレーション

(参考)

(2) 近年の比較的大きい改定率での事例

③千葉県我孫子市：令和8年4月に31.8%の改定予定

主な改正内容

- 水道料金を平均31.8パーセント値上げ改定します。
- 令和8年9月から、検針・料金請求を2か月に1回の実施に変更します。

水道施設の更新や耐震化を進めていくためには、現行の水道料金のみでは財源が大幅に不足する見込みです。将来にわたって、安全な水道水を安定的に供給するため、必要な財源を確保できるよう料金改定を行います。なお、今後も概ね3年から5年ごとに水道料金の水準が適正であるか検証します。

出典：我孫子市HP

2025/11/20

財政シミュレーション

(参考)

(2) 近年の比較的大きい改定率での事例

④大阪府河内長野市：令和7年10月に21.2%の改定

将来世代に負担を先送りしないために（改定の内容）

本市では、将来にわたり持続可能な、災害に強い安全安心な上下水道を構築するために令和7年10月1日に水道料金・下水道使用料の増額改定を行いました。

水道料金の改定率は平均で21.20%、下水道使用料の改定率は平均で10.26%、上下水道合計では、平均で16.05%になります。

市民のみなさんにはご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

出典：河内長野市HP

2025/11/20

財政シミュレーション

(参考)

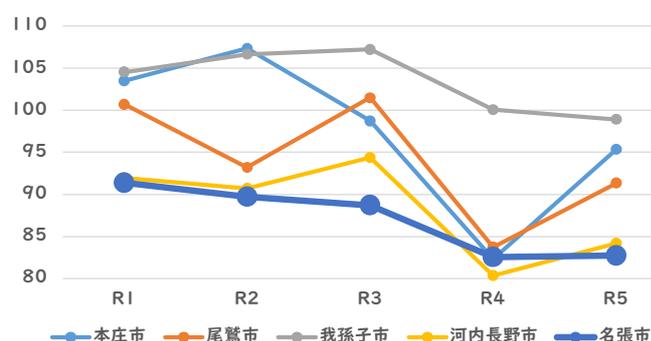
※出典
給水人口・料金回収率：各市の経営比較分析表（令和5年度決算）
浄水受水率：水道技術研究センター
「現状分析診断システム2025」（令和4年度の値）

(2) 近年の比較的大きい改定率での事例

⑤名張市との比較

事業体名	本庄市	尾鷲市	我孫子市	河内長野市	名張市
給水人口（人）	77,325	15,701	122,122	98,779	74,521
浄水受水率（%）	20.4	0	85.2	35.7	0
料金回収率（%）	95.33	91.33	98.89	84.19	82.73
最新の改定率（%）	40	34.6	31.8	21.2	19.4
最新の料金改定年月	R7.4	R6.4	R8.4（予定）	R7.10	H16.4

料金回収率（%）



料金回収率 = 供給単価 ÷ 給水原価 × 100
(100%以上が望ましい)

→我孫子市：R8に31.8%（予定）

→本庄市：R7に40%

→尾鷲市：R6に34.6%

→河内長野市：R7に21.2%

→名張市：？

2025/11/20

財政シミュレーション

(参考)

(3) 連続した改定事例

- ①大阪府富田林市：令和3年度に15%、令和7年度に10%の改定を令和3年度市議会にて可決し、連続して改定

令和7年10月1日から水道料金を改定します

いいね! シェアする × ポスト

更新日：2025年08月29日

水道事業は、使用者の皆さまからいただく料金で支えられており、将来にわたり安全・安心な水道水を安定的にお届けするため、「水道事業ビジョン」等に基づき、老朽化した水道施設の更新・耐震化に取り組むとともに、業務の効率化や経費節減など、経営の健全化等に努めてまいりました。

しかし、近年の人口減少に伴う給水収益の減少や物価高騰などの影響により、厳しい経営状況となることから、令和3年度（15%）及び令和7年度（10%）の2段階による水道料金の改定を行うこととなりました。（令和3年第1回富田林市議会定例会で可決済）

新たな水道料金は、令和7年10月1日以降のご使用分から適用されますので、使用者の皆さまには、経済状況が大変厳しい中、ご負担をおかけすることにはなりますが、災害に強く、安全な水道水を安定的に供給し、安心して次世代に引き継いでいくためにも、ご理解とご協力をお願いいたします。

出典：大阪広域水道企業団
HP

2025/11/20

財政シミュレーション

(参考)

(3) 連続した改定事例

- ②広島県海田町：「現在の料金体系」から「水道料金算定要領に基づく個別原価主義による料金体系」へ5年ごとの10回の改定で段階的に移行を目指す

6. 前回の料金改定の概要

前回（令和3年2月）の料金改定の内容を下記に示します。

- ・ 料金体系は10回の料金改定で段階的に算定要領に示された個別原価主義による料金体系へ移行することとしました。
- ・ 従量料金の逦増性や用途別の料金制は段階的に縮小しながら移行までの期間中は維持することとしました。
- ・ 平均改定率を15%としました。

出典：海田町上下水道事業経営審議会
「第2号議案 水道料金について」（令和7年7月11日）

2025/11/20